



陸の水

==== No.59 =====

日本陸水学会東海支部会

ニュースレター（2013 年 6 月 28 日）

発行：日本陸水学会東海支部会

連絡先：〒501-6021 岐阜県各務原市

川島笠田町官有地無番地

（独）土木研究所 自然共生研究センター

小野田 幸生

Tel: 0586-89-6036、Fax: 0586-89-6039

E-mail: onodayukio@yahoo.co.jp

2013 年 「サマースクール」のご案内

以下の要領で、2013 年度陸水サマースクールを開催いたします。ご家族や会員でない方も誘って、是非ご参加ください。

1. 日時： 2013 年 8 月 31 日（土）13 時半 ～ 9 月 1 日（日）14 時（1 泊 2 日）
2. 場所： 中池見湿地（福井県敦賀市）と三方五湖（福井県三方郡美浜町、三方上中郡若狭町）
3. 集合場所： JR 敦賀駅（8/31, 13：30）
4. 実習内容：「中池見湿地と三方五湖に学ぶ」

今回の実習は、福井県にある中池見湿地と三方五湖での開催を予定しています。中池見湿地は地形的にも特異な特徴を持つ場所で、「日本の地形レッドデータブック

（1994）」にも緊急な保全を必要とする地形として記載されています。また、生物多様性が高い場所でもあり、絶滅が危惧される水辺の植物をはじめ、トンボやゲンゴロウなどの水生昆虫も見ることができます。もう一つの実習場所である三方五湖は、文字通り五つの湖（三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖）で構成されており、それらがすべて繋がっています。五つの湖は日本海からの近さによって海水と淡水の比率が異なっており、興味深い水環境を有しています。2013 年のサマースクールでは、このような貴重で興味深い中池見湿地と三方五湖について学習する予定です。また、サマースクールに合わせて談話会も企画中で、内容も盛りだくさんとなっています。

講師：笹木智恵子先生（特定非営利活動法人 ウェットランド中池見）、小島秀彰先生（若狭三方縄文博物館）

5. 費用（予定）：

大人 10,000 円程度、学生 6,000 円程度、小中学生 2,500 円程度、未就学児無料。ただし、小中学生以下のお子さんは、必ず保護者の方のご同伴をお願いします。費用には、宿泊代、夕食・朝食代、保険料を含みます。

6. 募集人数：30 名程度を上限とし、超過した場合には抽選とします。

7. 申込方法・申込締切：

本誌 2 ページの参加申込書を複写し、必要事項を記入の上、郵送、または、FAX にてお申し込みください。なお、同内容を記載した電子メールでも受け付けます。申込締切は、時間が短く申し訳ございませんが、7 月 16 日（火）とさせていただきます。

申込先：

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200

中部大学 応用生態学部 環境生物科学科

上野 薫 （宛て）

電話&FAX：0568-51-9676（直通），E-mail：uenok@isc.chubu.ac.jp

2013 年度 陸水サマースクール 参加申込書

1. 参加者：参加者の氏名を記入し、参加区分を○で囲んでください。

参加者 1：氏名 _____ 区分（一般・学生・小中学生・未就学児）

参加者 2：氏名 _____ 区分（一般・学生・小中学生・未就学児）

参加者 3：氏名 _____ 区分（一般・学生・小中学生・未就学児）

参加者 4：氏名 _____ 区分（一般・学生・小中学生・未就学児）

参加者 5：氏名 _____ 区分（一般・学生・小中学生・未就学児）

2. 連絡先：代表者の氏名、住所、電話番号、電子メールアドレスを記入してください。

氏名：

住所：（〒 — ）

電話番号：

電子メールアドレス：

3. 現地までの交通手段（該当する方を○で囲んでください）

自家用車 ・ 公共交通機関

※公共交通機関をご利用の場合、①米原（名古屋発ではありません）から JR 特急しらさぎ 53 号乗車で敦賀駅 12:28 着、または②名古屋（または米原）から JR 特急しらさぎ 7 号乗車で、敦賀駅 13:28 着となります。実習場所や宿泊場所への移動もありますので、可能な方は自家用車でご参加いただき、ご協力いただければと思います。

※自家用車をご利用の場合、敦賀駅前の市営駐車場（最初の 1 時間無料）が便利です。

（参考 HP）<http://www.city.tsuruga.lg.jp/sypher/www/info/detail.jsp?id=632>

2013年度 日本陸水学会東海支部会 研究助成のご案内

日本陸水学会東海支部会では、以下の要領にて、**2013** 年度の研究助成を公募いたします。ふるってご応募ください。

1. 助成対象

川、溜池、内湾（干潟）、地下水など陸水環境の調査・研究を行っている、あるいは行う意志をもつ個人またはグループです。分野は自然科学、人文社会科学を問いません。また、陸水環境を対象とした環境教育の実践および教材研究も助成対象とします。応募資格は支部会員に限定いたしません。

選考にあたっては、研究機関（小学校、中学校、高等学校は含まない）に所属していない個人・グループを優先的に助成する方針ですが、研究機関に所属する研究者、学生も応募できるものとします。営利を目的とする研究には助成いたしません。大学生、大学院生の方は、卒業論文研究、修士・博士論文研究の一部内容について申請しても構いません。

2. 成果の公表

研究終了後 1 年以内に支部会研究会発表あるいはニュースレター紙上にて成果を公表して頂きます。

3. 助成金額

予算総額 10 万円以内で 1 件以上の助成を行います。

※10 万円分の予算まで申請可能ですが、減額して支給する場合があります。

4. 応募書類

以下の項目を含んだ応募書類（A4 用紙、様式自由、手書き可）を作成してください。

- 1) 研究題目
- 2) 助成を受けようとする個人の氏名またはグループ名
- 3) 助成を受けて実施しようとする調査・研究課題の内容（1000-1200 字程度）
- 4) 助成金の執行予算案（項目ごとに千円単位で）
例：用品費（消耗品含む）、調査旅費（成果発表のための学会・研究会参加旅費を含めて良い）、謝金（アルバイト代）など。
- 5) 個人またはグループ代表者の連絡先（電子メールがあればアドレス明記のこと）

5. 応募方法と応募先

下記まで郵送、または電子メールでお申し込みください。

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北 3-5-1 静岡大学大学院 工学研究科内 日本陸水学会東海支部会 戸田 三津夫（宛て） E-mail: tmtoda@ipc.shizuoka.ac.jp
--

6. 応募締切

2013 年 9 月 2 日（月）消印有効

7. 結果

本人に通知するとともに、「陸の水」で発表いたします。

新任幹事のご挨拶

(独) 土木研究所 自然共生研究センター 小野田 幸生

私が本支部会について知ったのは、自然共生研究センターの専門研究員の森照貴さんを通じてでした。佐久島での研究発表会に誘われて楽しそうな会だという印象を持ちました。研究発表会には、直前にインフルエンザにかかり、残念ながら参加できませんでしたが…。その後、前任の森さんからの熱烈な推薦により幹事をやらせていただくことになりました。ニュースレターの編集が主な担当です。文章を書くのがそれほど得意ではありませんので、皆さまにご迷惑をおかけすると思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。

ニュースレターでは会員皆様からの「お知らせ」なども掲載できればと思っております。さらに、談話会などのイベントに対する感想や報告なども大歓迎です。皆様の参加によって、さらにニュースレターが盛り上がれば嬉しく思います。ニュースレターに関する、ご意見・感想等も寄せていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。